

裏磐梯だより

No. 89

2018年3月



▲早春の深泥沼

みどろ

深泥沼は、神秘的な五色沼のなかでもひととき不思議で美しい沼です。一つの沼から少なくとも三つの色がみて取れるのです。探勝路からみて右側手前の緑系の色、左側奥の青白系の色、それに両者の中間部分の赤茶色です。

緑系の色は植物プランクトンなどの影響によるもの、青白系の色は珪酸アルミニウム微粒子による光の散乱によるもの、赤茶色は酸化鉄が沼の浅い部分の水生植物に付着することによるものと言われています。これらの色は、季節、天候、太陽光の入射角などでさらに変化します。

また、昨年7月にテレビ放映された高精細水中カメラによる撮影で、ウグイの群れに交じって悠然と泳ぐ大きなサケ科の魚が映りました。深泥沼のまたちがった面での神秘です。

いかにも「五色沼」らしい不思議な魅力の多い深泥沼を、ぜひ皆さんも訪ねてください。